

## はじめに



長岡大学長 原 陽一郎

長岡大学は、今年3月に5期生が卒業し、開学満9年目を終了しました。この間、地域の皆様に様々なご支援ご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

私は平成16年4月に学長に就任しましたが、それ以来、精力的に大学改革を進めてきました。まず、大学の基本理念を次のように新しく定めました。

★「ビジネスを発展させる能力と人間力を鍛える大学」

★学生に「毎日の大学生活で充実感を、能力アップを確かめて達成感を、卒業のとき4年間を振り返って満足感を」実感させること

この理念を実現すべく、この間、教育内容・教育方法の改革を行ってきました。本学は地域の産業界のニーズに対応した「幅広い職業人育成」をめざし、その実現のため、平成17年度から「産学融合型専門人材開発プログラム－長岡方式－」を開始しました。この教育プログラムは、産学連携教育を通して産業界で役に立つ実践的人材の育成を目指したものです。

幸い、この教育プログラムが、文部科学省の平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(テーマ5：実践的総合キャリア教育の推進)＝現代GPに選定されました(平成20年度までの3年間)。現代GPは、社会的要請の強い課題に対する取組のなかで「特に優れた教育プログラム」を選び、財政支援により高等教育の活性化を目標としたものです。GPとは、Good Practiceの略で、「模範となる取組」であり、全国の大学の模範となるような先進的な教育プログラムを指します。

また、平成19年7月には、「学生による地域活性化提案プログラム－政策対応型専門人材の育成－」が平成19年度の現代GPに選定されました(平成21年度までの3年間)。2年連続選定されたこととなります。こうした本学教育プログラムの2年連続現代GP選定は、国公私立の新潟県内大学では初めてであります。さらに加えて、同年7月には、平成19年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に本学の「長岡地域産業活性化のためのMO T教育『イノベーション人材養成プログラム』」が選定されました(平成21年度までの3年間)。

こうして本学は、平成19・20年度は競争的資金による3本の教育プログラム(キャリアGPプログラム、地域活性化GPプログラム、社会人MO T講座と略称)を展開しました。

本報告書は、このうち「産学融合型専門人材開発プログラム－長岡方式－」＝キャリアGPプログラムの最終年度＝平成20年度の実績を取りまとめたものであります。取りまとめに当たっては、3年間の実績数値が一覧できるように配慮しました。この3年間の教育実践により、実践的なキャリア教育の経験と方向性を蓄積、確認することができました。本学の教育力を大きく向上させることができました。

これも、連携企業、連携FDチームメンバー、企業講師の皆様をはじめ、地域の多くの方々のご協力、ご支援の賜物であります。厚く感謝申し上げますと同時に、あらためて御礼申し上げます。今後はこの実績の上に立ちさらに発展した教育プログラムを展開していく決意であります。

最後に、本報告書については、多くの方にご一読いただき、ご感想、ご意見をいただければ幸いです。

平成21年3月